

会 議 録

会議の名称	第6回西東京市教育計画策定懇談会
開催日時	平成20年11月11日 午前9時30分から11時30分まで
開催場所	保谷庁舎3階 第2会議室
出席者	(委員) 田中委員、本領委員、大橋委員、清水委員、松本委員、上田委員、石井委員 (欠席) 北岡委員、倉島委員、操野委員、山田委員、村田委員 (事務局) 清水企画調整係長、坂本企画調整係主事
議 事	1 第5回会議の会議録の確認について 2 西東京市教育計画素案の検討について 3 その他
会議資料	資料1 第5回会議 会議録(未定稿) 資料2 次期西東京市教育計画素案<未定稿>(平成20年11月6日現在) 参考資料 策定懇談会における主な議論等のとりまとめ一覧表
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
資料確認	
<p>議事1 第5回会議の会議録の確認について 事務局：なにか指摘はないか。次回までに意見がなければ確定とする。</p> <p>議事2 西東京市教育計画素案の検討について 座長：事務局から素案が示されているので、今日はそれをもとに議論する。事務局から説明をお願いします。 事務局：素案説明 座長：まずは、全体を通して何かあれば挙げていただきたい。よろしいか。体系一覧についてはどうか。 A委員：「ICT」は施策ではなく、媒体のイメージがある。バーチャルではなく、本物に触れる教育も重要。また、「学校選択制」については見直す必要があるのではないかと。 事務局：「ICT」は確かに手段という意味合いでもある。前面に出ているが、表現方法等は検討する。また、「学校選択制」については、確かに廃止している市もあるが、西東京市では受入数も決まっており、施設規模に応じた調整をしている。 座長：「ICT」は内容がわかる文言に変更したほうがよいかもしれない。「確かな学力の育成」については、施策は2つでよいのか。 B委員：前回でも意見があったが、基礎学力の定着の他に「伸長・増進」を示す内容があってもよい。 座長：基本的な内容の習得とさらなる学習意欲の向上の両方を柱に掲げるという意見だったと思う。また、「ICT」は括弧つきにして日本語を入れるなど、単に情報処理だけでなく、いろいろな手法で効果的な授業を目指すものであることがイメージできたほうがよい。 事務局：「学ぶ意欲に応える教育の充実・推進」といった項目を入れる方向で考える。 座長：「学校選択制」は市の方針か。 事務局：完全自由な選択制ではないが、見直しはありえる。 座長：市の方針を変えるものではないが、意見があれば発言をお願いしたい。 C委員：「適正規模・適正配置」のほうが柱にふさわしいと思う。「学校選択制」はその手段の1つとしたほうがよいのではないかと。 事務局：22ページの3に記述がある。学校の特徴を出すための方策の1つという書き方にしている。「適正規模・適正配置」については、25ページに記述している。</p>	

座長：「適正規模・適正配置」と「学校選択制」は別の議論で、同一に論ずるのは苦しい。

D 委員：22 ページの記述についてだが「学校選択制」は学校の特色づくりの手段ではないのではないか。また、「学校選択制」は「推進」でよいのか。

座長：「学校選択制」は極論すれば学区制の撤廃ということ。長期視点にたった文言にすべき。

E 委員：中学校では部活の関連もあるのである程度理解できるが、小学校ではどうか。公立学校の私立化につながるのではないか。

座長：学区の見直しと一緒に調整する必要がある。

F 委員：「学校選択制」は仕組みなので、主要施策に掲げないほうがよいのではないか。

事務局：主要施策からは外す。また「推進」は「実施」とする。

座長：それ以外に何かあるか。

G 委員：体系図では人権、道徳、生命尊重の順だが、生命尊重を最初にするほうがよい。また、P.16 の生命尊重に関する記述は、人権教育の箇所に移動したほうがよいかもしれない。

座長：生命尊重を主要施策に含めることもできるのではないか。

H 委員：人権教育や道徳教育の中で、生命尊重に踏み込むというやり方もある。

I 委員：今の社会情勢を考えると主要施策に掲げて意志を示したほうがよい。

J 委員：生命尊重は、人権、道徳、体験学習のどれにも関係する。体験学習に含めると狭いイメージになる。

K 委員：体系図で先頭に移動するのは賛成。

座長：他にあるか。

L 委員：不登校児童・生徒への支援教員の配置が報道されたが、事務局はどう考えるか。

事務局：調査して回答する。

座長：不登校児童・生徒の親の支援についてもどこかで検討していただきたい。

M 委員：「強化」という文言をどう考えればよいか。

座長：「強化」より「充実」のほうがよいかもしれない。また、「復帰」や「解消」はソフトランディングできる文言のほうがよいのではないか。

座長：持ち帰って気になった文言はチェックしていただきたい。他にあるか。

N 委員：「早寝・早起き・朝ごはん」は家庭の事情もあるので難しいのではないか。他の文言はないのか。

O 委員：文部科学省の施策を受けた文言なので引用を示す括弧があればよいのではないか。

P 委員：「正しい生活習慣」も相対的な問題なので難しい。

座長：「正しい」は「規則正しい」にしたほうがよい。キャッチフレーズをそのまま使うのではなく、修正したほうがよい。「規則正しい生活習慣の確立」か。

座長：主要施策の順序は配慮しているか。

事務局：順序にもある程度配慮している。意見があれば願います。

Q 委員：副籍制度はまだ検討段階なのか。

事務局：既の実施しているので、表現を修正する。

R 委員：通級学級は中学校では未実施だが、「整備」でよいのか。

事務局：新たに整備する場合と既存の事業を充実する場合の両方を「整備」としてまとめた。

座長：他にあるか。

S 委員：地域連携の推進については検討すべき点が多いように思う。まず、(1)～(4)のバランスが悪いので、(1)を分割したほうがよい。(3)は柱にすべきかどうか疑問。

座長：(1)を分けるとするとどのようにすればよいか。

T 委員：次回予定されている社会教育部分とも関連すると思われるが、1と3は「地域との連携」で、2と4は「関係機関との連携」といった文言にすれば1つになると思う。

U 委員：4は行政内部の連携なので、主要施策に掲げる必要はないのではないか。

V 委員：「市長部局」を「関連行政」などと修正して意味を拡げるのはどうか。

W 委員：メディアリテラシーはむしろ学校教育でとりあげたほうがよいかもしれないので調整が必要。食育は健康とも関連する。再度検討してほしい。

座長：体系がきれいに収まることも大切だが動きやすいことも大切なので、大柱の「3」は事務局で再度もう少し整理してほしい。

座長：全体を通して他にあるか。

X 委員：次回には出席できないが、社会教育の部分で学校教育のことに触れられていないので、その点を伝えたい。そういう意見をいえるのか。

事務局：生涯学習推進計画は別に議論されている。社会教育に関する部分も教育基本計画に含めるので、生涯学習推進計画策定懇談会の検討内容をもとに、教育基本計画にどのような形で含めるか議論することになる。

座長：個別に委員に意見をもらっても構わないので、事前の調整をお願いします。また、各委員には文言のチェックをお願いします。

以上